



# トップ直撃インタビュー

## 六甲バター

### 塚本浩康社長

# 「Q・B・Bベビーチーズ」50周年

六甲バター(Q・B・B)の主力商品「ベビーチーズ」は50周年を迎えた。2021年のチーズ市場No.1企業(インテージSCI調)として今後の展望や挑戦など、塚本浩康社長に聞いた。

(聞き手 木下愛子)

#### 「新市場区分」プライム市場」への選択申請

昨年3月に新社長として就任した。コロナ禍で移動などの制限がある時期だったが、今後の方向性などを熟考する時間が取れたと思っている。まず、社長に就任するにあたり、決めていたことがあった。それは東京証券取引所の「プライム市場」に選択申請するということだった。取締役会では、当社の社風とは少し違うのではないかという意見もあったが、これからの当社の将来を見据えて、より厳しい評価を受ける立場で、高みを目指していく必要性があると考えた。新社長として初年度となる21年12月期決算は微増収増益で着地できた。また、開発チーム・製

造工場から現場の営業、本社スタッフなど社員全員の努力の成果として、2021年のチーズ市場でNo.1になることができた。22年度は新収益認識基準を適用するため、当社にとって売上高への影響が大きい年となる。さらに、原料高騰・為替など厳しい環境が続いているが、チーズの栄養素やカルシウムの摂取に適していることなどを伝え、お客様とのコミュニケーションを大切にしながら、しっかりと収益を確保していきたい。

また、昨年サステイナビリティ宣言を発表した。今年からロスチーズを肥料にするなど具体的な取り組みを実施している。来年はその成果などを発表していきたい年になるよう励んでいく。

——大阪パピリオンへの  
2025年日本国際博覧

会で、大阪府・市・2025年大阪国際博覧会大阪パピリオン推進委員会が出席する「大阪パピリオン」への協賛を決定し、出展参加企業に選定された。当社のブランドメッセージ「おいしいうって、生きること。」と大阪パピリオンの掲げるテーマ「REBORN」を

掛合わせ、いのちを支える「これからの食」のあり方について発信していきたいと考えている。開催までの3年間、コンセプトをしっかりと固めて世界中の人にアピールできるように準備していく計画。SDGsの観点や、エシカルな若い世代にも受け入れられるような植物性由来のチーズなどの開発にも取り組み、世界の方に認めてもらえるようなものを作っていきたいと考えている。食を通じて、食べるものの重要さや、食

## メッセージを込め、頑張る人を応援

「Q・B・Bベビーチーズ」50周年の施策

22年は家庭用主力商品「ベビーチーズ」が50周年を迎えた。4月にスケートボードの白井空良選手と西矢柁選手を初めてブラン

ドアンバスターに起用。「好きなことに夢中に挑戦する人」をサポートする「小さなエナジード」というメッセージを込めた。6月の第1日曜日のベビーチーズの日には、スポーツイベントに協賛し西矢柁選手とサンプリングを行った。また、当社初となるベビーチーズ自動販売機を9月5日まで渋谷に設置している。得られた収益は、健全なスケートボード普及啓蒙活動などの支援に役立てる。自動販売機では、限定

「ベビーチーズ」という商品名から、50周年を迎えても「いつでも生まれ変われる」という気持ちを持っている。50年も前からあるロングセラー商品なので、これからもより多くの人々の健康に役立ち、より良い暮らしや、人生をより良く過ごしていくことに貢献していければと思っている。これを機に、チーズで手軽に栄養が補給できるだけでなく、幅広い世代で純粋に頑張る人たちを支えて応援する企業でありたいと思っている。

——好調の「チーズデザート6P」や業務用の回復

「チーズデザート6P」は、罪悪感なく食べられる甘いスイーツとして、近年シリーズの売り上げが大きく伸びている。また、業務用の両輪で、より強い「六甲バター」になっていく。

※(株)インテージSCI (15~69歳・沖縄含む) チーズ市場2021年1月~12月購買金額シェア



ベビーチーズ自動販売機



50周年限定パッケージ